

臨床研究へのご協力のお願い

独立行政法人国立病院機構 豊橋医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。本研究は、該当する患者さんの診療情報を用いて実施する研究であり、通常の診療以外の特別な検査や治療が行われることはありません。研究内容についてご不明点がある場合は、下記の「問い合わせ先」までご連絡ください。

[研究課題名]

PREMED Study:

整形外科・外科手術患者における術前休薬確認を中心とした薬剤師入院支援の有用性に関する観察研究

[研究責任者]

独立行政法人国立病院機構 豊橋医療センター 薬剤部

嶋田みなみ

[研究の背景]

手術前には、抗血栓薬、糖尿病治療薬、ホルモン剤など、手術に影響を及ぼす可能性がある薬を一時的に中止(休薬)する必要があります。休薬が不十分であれば出血や血栓症のリスクが高まり、不必要に休薬すると治療効果が低下することがあります。

近年、薬剤の種類や作用が多様化し、患者さんごとに適切な休薬期間を判断することがより複雑になってきました。このため、手術前の段階で薬剤師が介入し、持参薬や内服薬を確認した上で、適切な休薬の要否や期間を整理し、医師と連携して管理を行うことの重要性が高まっています。

本研究では、薬剤師による入院前からの術前薬剤確認(入院支援)が、周術期の安全性および薬物治療の適正化にどの程度寄与しているのかを明らかにすることを目的としています。

[研究の目的]

薬剤師が入院前の段階から術前休薬の確認に関与することで、休薬不足、不必要な休薬、休薬期間の逸脱、術後の再開指示漏れといった不適正な薬剤管理を減少させ、周術期の安全性を向上させることが期待されます。本研究では、薬剤師による入院支援が周術期薬物療法の適正化にどの程度寄与しているのかを、整形外科および外科の予定手術患者を対象に後方視的に評価することを目的としています。

[研究の方法]

• 対象となる患者さん

2025年9月1日～2026年3月31日に整形外科または外科で予定手術を受け、術前に休薬が必要な薬を使用されていた患者さん。

• 研究期間

倫理審査承認日～2026年6月30日

• 利用する情報

新たな検査や採血は行いません。通常診療で得られた次の情報のみを用います。

- 診断名
- 年齢、性別などの基本情報
- 持参薬・内服薬情報
- 術前休薬の状況
- 手術日、入退院日
- 術後の薬剤再開指示の有無
- 薬剤師による術前確認の有無
- 手術延期があった場合の理由(該当する場合)

[試料や情報の管理]

収集した情報は匿名化し、研究責任者が厳重に管理します。
外部機関への情報提供はありません。

[研究組織]

本研究は当院単独で実施します。

[個人情報の取扱い]

研究に利用される情報から氏名・住所・診療録番号などの個人を特定できる情報は削除します。

研究成果は学会や論文で公表される場合がありますが、個人が特定される情報が公開されることはありません。

[研究の資金源、利益相反について]

本研究に対する資金提供はなく、利益相反もありません。

[研究への参加を希望されない場合]

本研究でご自身の診療情報が利用されることを希望されない場合は、下記問い合わせ先へご連絡ください。

研究に参加されない場合でも、患者さんの診療に不利益が生じることはありません。

[問い合わせ先]

独立行政法人国立病院機構 豊橋医療センター 薬剤部

研究責任者:嶋田みなみ

〒440-0836 愛知県豊橋市飯村町浜道上 50

電話:0532-62-0301(代表)